

令和4年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	(福)豊立会	代表者	鈴木 俊孝	法人・事業所の特徴	日々笑顔にあふれたアットホームな雰囲気施設の施設です。通いであっても自宅へ送ったら支援が終わりではなく、24時間ご利用者の状況を把握して、必要な介護が出来るように支援しております。また、宿泊や訪問も顔なじみの職員が支援しており、お互いの関係も深まり安心へと繋がっています。さらにご家族様と、情報を共有することでご利用者の最適な支援へと繋がっています。季節に合わせたイベントも多く、苑庭で栽培した野菜を収穫して食材にするなど楽しみのある施設となっています。ご利用者様からの意見を取り入れ、活動に活かし、一人ひとりに合わせた日常生活動作の向上が図れるように支援をしております。朝の訪問や夕食を食べてからの送迎、急な宿泊など可能な限り柔軟に対応し、住み慣れた地域でなるべく長く暮らせるための支援を行うと共に、ご家族様の介護負担の軽減を図れるように努めております。
事業所名	まんざきの家玲光苑	管理者	鈴木 俊孝		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	9人	1人	人	人	1人	人	人	人	12人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	事業所自己評価の中で職員の研修に行く機会が失われているとの声も多く、オンライン対応している研修への参加も取り入れ、コロナ禍にあってもサービスの質の向上に努める。	オンライン対応の研修参加はできなかったが、書面会議での意見交換や年間の研修計画に沿った研修資料を活用することでサービスの質の向上に努めることができた。		昨年度までは研修や会議の開催や参加が感染予防の影響を受け難い状況であったが、次年度は事業所内の会議開催を再開させ、職員同士の意見交換を活発に行うことでサービスの質の向上につなげていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	介護事業所での感染クラスターも続いており引き続き、消毒・換気の徹底、状況に応じた入館制限を行うと共に職員、ご利用者、ご家族の健康状態の確認を行い感染防止に取り組んでいく。	感染防止対策として業務日誌に消毒・換気の実施を記録。また、ご利用者の利用状況についても送迎車両の乗車記録やデイルームでの席配置を記録することで、感染者発生時の初動対応策としている。		事業所敷地内や周辺環境整備を担当チームを中心に季節ごと実施する。また、館内の換気・消毒を徹底し、実施の記録をもとに検証して新型コロナ感染防止に取り組んでいく(継続)
C. 事業所と地域のかかわり	各種イベントや行事の自粛が続く中、地域の行事については、一部再開し始めている。開催の情報を集め積極的に参加することで地域との連携や施設の情報発信の場として活用していく。	地域主催の行事が徐々に再開し始めており、職員が参加させて頂いている。行事では開催前の準備体操を担当し、久しぶりに地域の方との交流を深める事ができた。		再開し始めている地域行事に積極的に参加し、地域の方々と関わりを持ち施設の情報発信の機会とする。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	感染防止の為、地域の方との積極的な関わりを持つことが出来ない状況が続くが、地域包括支援センターなどから情報をいただき、ご本人の困りごとの状況の把握や地域の隠れた困りごとについても気づけるよう取り組んでいく。	地域の方々や地域包括支援センターからの情報や相談を受け、困りごとを抱える方のご自宅へ訪問し状況の把握に努めた。具体的な支援が必要な場合にはサービス導入し困りごとの解決につなげることが出来た。		通いや訪問サービス利用の際、ご家族や近隣住民の方々との関わりを持ち、本人の困りごとの把握や情報収集の場とする。
E. 運営推進会議を活かした取組み	外部評価などの資料については「まんざきムービー」のような映像資料を配付する事で実際にご覧頂けない施設の運営状況を具体的にお伝えしていく。	開催中止の際、書面での資料配布はできたが映像資料の配布は実現できなかった。地域の各役職の方の多くが入れ替わっておられ新年度からの開催に向け、準備を進める。		次年度の運営推進会議開催については、感染防止対策をとり集合しての対面会議の再開を目指します。委員の方々に実際に施設をご覧いただいたうえでご意見をいただき、施設運営に活かしていく。
F. 事業所の防災・災害対策	地震・風水害の事業継続計画(BCP)について定期的に見直しを行い最新の情報と状況に対応させていく。また、地域の方へも公開することで事業所の取り組みを理解していただく。	地域の方を招いた避難訓練は中止となったが、事業所主催の防火避難訓練は実施することができた。また、今年も地域主催の防災訓練が実施され、職員が参加することが出来た。事業継続計画についても公表できるよう準備を進めていく。		計画をまとめている災害についての事業継続計画に沿って、地域の方と協同した防災訓練を実施する。

